

# 事業創造型 想造商社

“Imagination & Creation, Tokyo Boeki”



TOKYO BOEKI GROUP

## 東京貿易グループ

### 第100期 事業報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

# Active all over the world.

東京貿易グループは、「創業の三精神 (TOMAS精神)」及び「経営理念」を受け継ぎ、独立系の事業創造型企業グループとして、“東京貿易グループ連邦経営”を展開しております。

## 創業の三精神 (TOMAS精神)

1. 全員経営の精神
2. 開拓者精神
3. 困難に打ち克ち努力する精神

## 経営理念

東京貿易グループ各社は、一人ひとりが仕事を通して夢を実現でき、創造性豊かな会社になる。一人ひとりが誇りを持ち、世界に貢献する会社になる。

シナジー効果を生み出す  
【東京貿易グループ連邦経営】

H

HEADQUARTERS

東京貿易ホールディングス株式会社

ENERGY

エネルギー・機械産業グループ

TECHNOLOGY

技術・自動車・情報産業グループ

SCIENCE

医療・生活・科学産業グループ

RESOURCE

資材・資源・鉄鋼産業グループ

株主の皆様におかれましては日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様や、そのご家族の皆様にご丁寧にお見舞いを申し上げますとともに、当社グループにおいては、お客様及び社員の安全に十分注意し、影響が最小限となるよう努めてまいります。

さて、当社第100期(2019年4月1日～2020年3月31日)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2019年度における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調だったものの、新型コロナウイルスの影響による経済活動の抑制が各国で相次ぎ、足元では急速に減速しており、非常に厳しい状況です。

米国経済は雇用者数の増加や個人消費の拡大を背景に堅調に推移、中国経済は米中通商問題や投資抑制策などにより緩やかな減速傾向、欧州経済は持続的な雇用創出と堅調な賃金上昇により緩やかな回復傾向を示しました。しかしながら、年明け以降の新型コロナウイルスの世界的流行により、それぞれ急激に減速しており、終息の見通しも立たない状況の中、世界経済は不確実性が極めて高くなっています。

わが国経済は、手厚い政策対応によって消費増税の影響が薄れていくと見込まれていたところにコロナ禍に直面し、製造業、

非製造業によらず、企業の現状及び先行きの景況感や業績見通しが大きく悪化し、これまで経験したことのない影響が随所に見られるなど、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような内外の経営環境の中、東京貿易グループ(TB-G)におきましては、「エネルギー機械産業」「技術・自動車・情報産業」「医療・生活・科学産業」「資材・資源・鉄鋼産業」の4グループにおいて、マーケティングから事業企画・開発、製造、販売、アフターサービスまで一貫して専門性の高い独自の事業・サービスの提供を通じ、企業価値の最大化と持続的な成長発展の実現に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は470億91百万円(前期比+6.9%)、経常利益53億38百万円(前期比+21.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は37億56百万円(前期比+25.5%)と、前期に比べ増収増益となりました。

期末配当金につきましては、既存事業並びに新規事業への積極的な投資のための内部留保を確保する一方、第100期の節目であること等を記念して、1株につき普通配当金70円に記念配当金30円を加え、合計100円とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

## 売上高

**47,091**百万円  
(前期比6.9%増 ▲)

## 営業利益

**5,178**百万円  
(前期比24.2%増 ▲)

## 経常利益

**5,338**百万円  
(前期比21.0%増 ▲)

## 親会社株主に帰属する 当期純利益

**3,756**百万円  
(前期比25.5%増 ▲)



代表取締役会長  
町田 弘



代表取締役社長  
加藤 三四郎

**33%** エネルギー機械産業グループ

売上高 **15,559** 百万円 (前期比 112%)  
 営業利益 **2,581** 百万円 (前期比 127%)



■ 事業内容

電力・ガス・石油・石油化学など、エネルギー関連業界向けに流体荷役機械及び関連機器、ガス関連各種機械、発電関連機器・装置、環境関連機器などの開発・製造・販売を行っています。主力の流体荷役機械は、東京貿易マシナリー(株)と東京貿易エンジニアリング(株)の製販一貫体制のもと、優れた製品を世界中のユーザーに提供し、高い評価を得ています。

■ 事業概況

主力のローディングアーム事業において、国内向け大型案件や、海外向け新設・予備案件(韓国・ロシア)の獲得により、売上・利益ともに増加しました。また、水素エネルギー事業、吸着式冷凍機、船用ORC発電システム、運搬支援ロボット等の新規事業への先行投資についても、継続的に取り組んでおります。この結果、当グループとしましては、増収増益となりました。

**15%** 技術・自動車・情報産業グループ

売上高 **7,089** 百万円 (前期比 96%)  
 営業利益 **899** 百万円 (前期比 154%)



■ 事業内容

主力製品である三次元測定機は、様々な製品の開発造形から製造、検査、完成までの一連のプロセスにおける計測及びデータ処理作業を総合化して提供し、主に自動車メーカーの製品開発力の向上に貢献しています。三次元測定機は、自動化、精密化、そして多様化へと進化を遂げ、世界的評価を得ています。

■ 事業概況

主要顧客である自動車業界において、米中通商問題等を背景に国内メーカーが厳しい業績見通しとなる中、主要商品であるベクトロンが販売数を落とすなど、減収となりました。一方で、退職給付債務の計算方法の変更等により、増益となりました。この結果、当グループとしましては、減収増益となりました。



## 医療・生活・科学産業グループ

売上高 **16,387** 百万円 (前期比 114%)  
 営業利益 **2,606** 百万円 (前期比 119%)



### ■ 事業内容

セキュリティ機器、医療機器、理科学機器など、多岐にわたる製品の開発・製造・販売を行っています。とくに、セキュリティシステム事業では、海外の監視カメラを中心としたセキュリティ機器を厳格な品質管理のもと、現地調査からシステム設計、提案・見積り、施工、修理・メンテナンスまでのトータルサービスで国内市場に提供しています。また、医療機器分野においては、小型の臨床検査用自動分析装置が世界約80カ国で販売されるなど、優れた実績を誇ります。

### ■ 事業概況

主力のセキュリティ関連事業において、市場ニーズの多様化への対応に努め、売上・利益ともに堅調に推移しました。また、AI技術を活用した画像解析システム“TB-eye AI Solution (TAS)”は、大手セキュリティ会社で採用されたほか、各種施設にも導入されるなど、成果を上げました。ロシア・CIS事業においては、酸素発生装置の納入が完了し、産業機械の販売数量も増加しました。この結果、当グループとしては、増収増益となりました。



## 資材・資源・鉄鋼産業グループ

売上高 **8,110** 百万円 (前期比 96%)  
 営業利益 **346** 百万円 (前期比 80%)



### ■ 事業内容

資材関連では、中国の合併会社で開発・製造した耐火物を、鉄鋼業界を中心に安定供給しております。資源関連では製鉄原料、非鉄金属、肥料・飼料原料を鉄鋼業界、ガラス業界、農業関連各社に供給しております。鉄鋼関連では、高級鋼をはじめとする各種鋼材を、需要家のニーズに基づき海外へ供給展開しております。

### ■ 事業概況

主力の資材事業において、国内鉄鋼メーカーの業績が大幅に悪化し、調達原料資材に対するコスト削減圧力が強くなったことにより、販売が伸び悩みました。一方で、鉄鋼事業においては、ベトナム向け厚板の輸出に加え、インド向けステンレス材の輸出も開始するなどの好材料があったものの、当グループとしては、減収減益となりました。

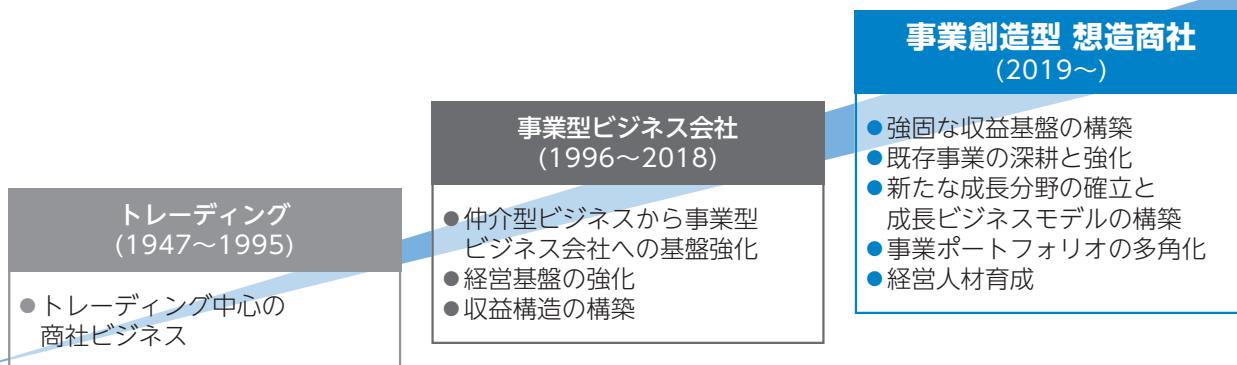


## 東京貿易グループ

### ● グループビジョン「事業創造型 想造商社 "Imagination & Creation, Tokyo Boeki"」の策定

東京貿易グループ(以下、TB-G)は、グループビジョン「事業創造型 想造商社 "Imagination & Creation, Tokyo Boeki"」を策定しました。このビジョンには、事業を創造し、価値を世の中に提供し続ける会社でありたいという思いが込められています。「想造」は造語で、「Imagination」の想像と「Creation」の創造を合わせ、将来に向けて必要な価値を自ら「想造」していく「想造商社」、すなわち、将来世の中が求めることや社会をより良くすることを想像し、実行し、ビジネスモデルを創造できる商社を目指します。

#### ● ビジョンの位置づけ



また、セグメントごとの項目も定め、目先の仕事だけにとらわれるのではなく、将来にわたって社会を見通し、持続発展できる企業グループを目指してまいります。

**エネルギー・機械産業グループ：人類のエネルギー社会の未来を想造する**  
**技術・自動車・情報産業グループ：人類のデジタル情報社会の未来を想造する**  
**医療・生活・科学産業グループ：人類の社会の安全な未来を想造する**  
**資材・資源・鉄鋼産業グループ：地球の資源の未来を想造する**

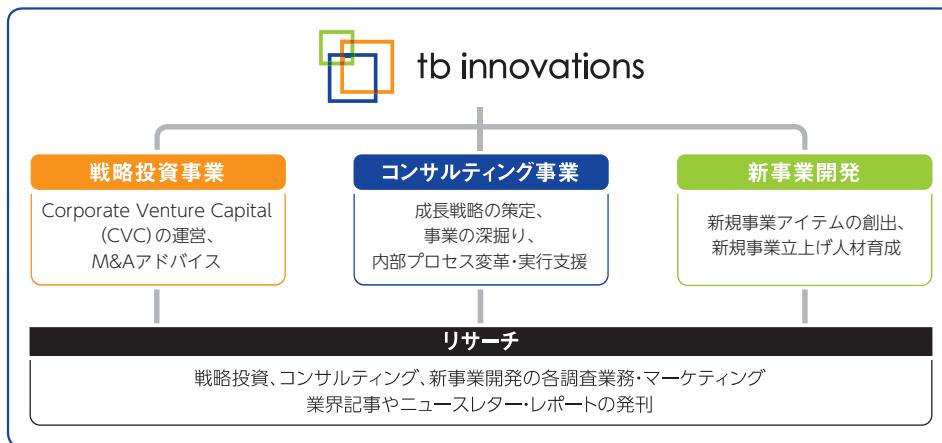
TB-Gは1947年の創業時より従来の仲介型ビジネスから始まり、その後、バリューチェーンの多くを取込み自身の事業とする事業型ビジネスへと基盤を強化してまいりました。今後は、グループ各社が社員の幸せと会社の成長及び社会貢献を目指す経営型ビジネスを確立し、事業創造型の想造商社を目指してまいります。

## 東京貿易グループ

# 🌐 新グループ会社「(株)tb innovations」の設立

2020年3月4日、戦略投資・コンサルティング・新事業開発などを手がける新たなグループ会社として(株)tb innovationsを設立しました。

新会社は社名が表す通り、東京貿易グループの中にイノベーションを起こすことをミッションとし、グループの強みを活かしながら新しいビジネスの創造にチャレンジしていくため、3つの事業を推進します。



### ●戦略投資事業

主に国内のベンチャー企業やスタートアップに投資を行い、当社グループとの連携シナジー効果の創出を目指します。

### ●コンサルティング事業

グループ内既存事業について深掘りし、将来に備えた事業の新たな方向性を打ち出して、それに沿った具体的な事業活動や技術面での提案などを行います。当面の対象はグループ各社が中心ですが、将来的には社外にも業務を拡大する方針です。

### ●新事業開発

投資先のベンチャー企業を育成・事業化することに加え、グループ内でも新事業の柱を創出していきます。国内のみならず、中国をはじめとする海外での事業展開も視野に入れており、グループ内で新規ビジネスを創出できる人材の育成も目指します。

### ●リサーチ

3つの事業を根底から支える業務です。投資対象の会社が属する業界の動向などの情報を収集分析して新規ビジネスにつなげるほか、グループ各社からの依頼に対応したマーケティングリサーチなどの各種調査も実施します。

(株)tb innovationsでは、これらの事業によるグループのエコシステムの創造と、日本の社会的なエコシステムとの共存による社会的な貢献も見据え、今年度より活動を本格化させてまいります。

国内グループ **東京貿易マシナリー株式会社**

**新商品・運搬支援ロボット「CoRoCo(コロコ)」量産開始**

2020年3月、運搬支援ロボット「CoRoCo(コロコ)」の量産を開始しました。新事業であるSEEDsロボティクス/運搬支援事業の最初のアイテムとして、商品開発期間実質1年半というスピードで量産開始となりました。開発した特殊センサ技術は汎用性が高く、次期モデルも短期間での開発になると見込んでおり、市場ニーズに合致する商品ラインナップ拡充が期待されます。SEEDsロボティクスグループは「人とロボットが“共に生きる日常”を実現し、人・地域社会と共に“真の豊かさ”を追求する」を事業理念に掲げ、お客様やパートナー各社等、事業に関わっていただける方々との良好なコミュニケーションを大切に、地域に根差した活動を行ってまいります。さらに、お客様やパートナー各社とともに新しい事業を生み出し、価値共創していくことも見据えています。「CoRoCo」を皮切りに実績と信頼を備え、多くのテクノロジーの中から選ばれる存在を目指してまいります。



生産パートナーの工場での量産組立の様子

国内グループ **東京貿易マシナリー株式会社/東京貿易エンジニアリング株式会社**

**LNG国際会議・展示会 (LNG2019上海) に出展**

2019年4月、上海国際エキスポ展示会議場にて開催されたLNG国際会議・展示会 (LNG2019上海) に東京貿易マシナリー(株)と東京貿易エンジニアリング(株)共同でニイガタLNGローディングアームを出展いたしました。本会議・展示会は、LNGの開発から利用までを研究し、交流を促進するため、3年に一度開催される大規模な国際会議・展示会です。今回は、LNG輸入の伸びが目覚ましい中国・上海にてのべ15,000人以上が来場し、盛大に開催されました。アジアで唯一のLNG用アーム・サプライヤーとして各国における実績を紹介するとともに、中国のみならず極東・東南アジア地域の多くの来場者をブースに迎え商談を展開することができました。今後も世界のエネルギー・LNG産業に貢献する製品を両社で協力し継続的に供給してまいります。



出展ブースの様子

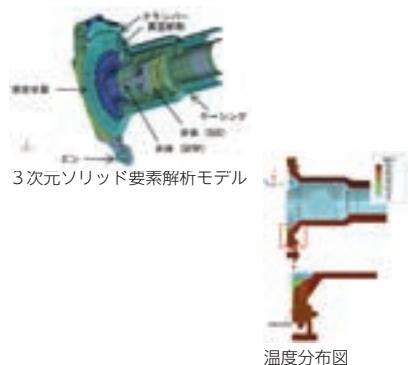
国内グループ **東京貿易エンジニアリング株式会社**

**公益社団法人日本マリンエンジニアリング学会論文賞を受賞**

このたび、液化水素用マリンローディングアーム<sup>\*1</sup>の主要構成要素ERS<sup>\*2</sup>に関する学術論文「液化水素用緊急離脱機構の熱応力特性(執筆代表者川崎重工業(株)猪股昭彦博士、共著東京貿易エンジニアリング(株) (以下、TEN) 技術部開発設計グループ河合務、他)」が、公益社団法人日本マリンエンジニアリング学会論文賞を受賞しました。論文の内容は、「高断熱特性液化水素用ERSの構造、設計時の熱応力解析と試作機の実測温度との比較による妥当性評価」です。TENでは、設計・試作したERSがJAXA能代ロケット実験場での液化水素を用いた各種試験に合格しており、今後も次世代のCO<sub>2</sub>フリーエネルギーである液化水素荷役の先駆者として、研究・開発を推進してまいります。

<sup>\*1</sup>TENは、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム」に参画し、世界初の液化水素用マリンローディングアームの開発に成功しました。

<sup>\*2</sup>Emergency Release System。災害発生時にローディングアーム内の流体を損なうことなく、短時間でタンカーから安全に切り離す緊急離脱装置システム。



3次元ソリッド要素解析モデル

温度分布図

## 国内グループ 東京貿易メカニクス株式会社

### (株)豊田自動織機 高浜工場に「シンプルフューエル」納入

東京貿易メカニクス(株)は、燃料電池(FC)フォークリフトを製造する(株)豊田自動織機(以下、同社)のニーズに応え、同社高浜工場(愛知県高浜市)に水素発生充填装置「シンプルフューエル」を2台納入いたしました。また、本商品は水素社会の発展のために来訪者へ広くPRができるよう、同社工場内の正面入り口向いに設置されており、1日に4~7台のフォークリフトに水素を充填しております。

本商品は、水を電気分解することにより水素を発生させ、燃料電池に水素を充填するまでの作業を一貫して行う装置です。水素の発生から充填までの過程で、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しない事が特徴です。また、太陽光などの再生可能エネルギーを電力として利用し、環境に配慮した設備として活用することができます。

本商品の納入実績は、今回の2台を含め4台となります。さらに燃料電池バス用の水素ステーション向け大型高圧水素圧縮機を納入しております。今後も高圧ガスのプロフェッショナル集団として、グリーンエネルギー安定供給の一端を担い、社会に貢献してまいります。



シンプルフューエル

## 国内グループ 東京貿易テクノシステム株式会社

### 創立25周年記念プライベートショーを開催

東京貿易テクノシステム(株)(以下、TTS)は、2019年に創立25周年を迎え、7月から8月にかけての4日間、厚木テクニカルセンターにおいてTTS創立25周年記念プライベートショー(社内商品展示説明会)を開催いたしました。

各種講演やデモンストレーションを開催し、熱心な質疑応答も繰り広げられました。

基調講演では欧州最大の応用研究機関である独フラウンホーファー研究所の方をお招きし、産業用ロボットを利用した航空機等の部品の高度な自動化作業を実現するシステムについて説明いただきました。真夏の暑い最中でしたが、152社・計403名のお客様にご来社いただきました。今後も、世の中のニーズに対応した商品の開発と展開をすすめ、お客様とともにさらなる成長を目指します。



25周年ロゴ



COMET自動計測デモの様子

## 国内グループ テービーテック株式会社

### 「データサイエンスアワード2019」を受賞

テービーテック(株)(以下、TBT)は、新たな事業としてAI教育事業をスタートし、2019年度は製造業向けに「データサイエンティスト養成講座」を開校し、「データサイエンスアワード2019」を受賞しました。本講座では、大手自動車メーカーやそのグループ会社各社から多数の受講生を受け入れ、豊田校(愛知県豊田市)では3期、東京校では1期を運営しました。特に、大手自動車メーカーをはじめとする製造業が集結する豊田校では、教材として製造ラインの模擬設備を教室に設置し、製造現場で発生する問題を解析する実習に力を入れました。この活動をきっかけにAI関連の問合せが増加しており、今後もAI/IoTの技術をさらに向上させ、TBTに寄せられる期待に応えられるよう尽力してまいります。



豊田校 講座の様子

## 国内グループ 株式会社ティービーアイ

### SI研究所を開設

2020年1月、SI\*研究所を江東区の本場に開設しました。セキュリティシステムの分野では、映像を鮮明かつ長時間録画するだけでなく、得られた映像を解析し、防犯防災に活用するソリューションに対するニーズが高まっています。SI研究所では、機材を持ち込んでシステムの確認・評価を行うラボ、AI強化のために多くの映像を撮影・学習させるための検証ルーム、カメラの機能・性能を評価する暗室、出荷前にシステムを組んで実際に長期動作をチェックするエージングルームの4施設を備えています。(株)ティービーアイでは一昨年、画像解析アプリケーションソフト「TB-eye AI Solution (TAS)」をリリースしましたが、さらに高まる社会やお客様のニーズにお応えするため、AIアルゴリズムによる新しいシステムを開発し、オンリーワンのソリューションプロバイダーを目指します。

※システムインテグレーションの略。



SIラボ



エージングルーム

## 国内グループ 株式会社ティービーアイ

### TB-eye AI Solution(TAS)に「車番認証」機能を追加

2018年9月にリリースした画像解析アプリケーションソフト「TB-eye AI Solution (TAS)」は2019年12月に「車番認証」に対応しました。これにより、侵入検知、ピープルカウントなどを行う「AIアラーム」と「顔認証」とを合わせて、1つのプラットフォームで3つの画像解析を行えるようになりました。2019年度は商業施設・公共施設・交通機関など様々な分野で導入され高い評価をいただくなど、成果を上げた1年となりました。TASの標準機能はもちろん、お客様にとってより便利に安全にお使いいただけるよう、ご要望に応じてカスタマイズを行っていることも評価につながっています。今後は、パートナー会社との連携を深め、さらに無人化、省人化のお役に立つ商品として、販売を拡大させてまいります。



TASロゴ



車番認証サンプル画像

## 国内グループ 東京貿易メディシス株式会社

### 蛍光免疫自動分析装置「アフィアス」の輸入販売を開始

東京貿易メディシス(株) (以下、TMS) は、1月より韓国医療機器メーカー製の蛍光免疫自動分析装置「アフィアス」の輸入販売を開始いたしました。既に取得済のPCT (プロカルシトニン、敗血症マーカー)、CRP (C反応性蛋白、炎症マーカー) の薬事承認に加えて、Dダイマー等の心筋マーカーの認証も目指しており、今後も測定項目を充実させてまいります。

また、TMSでは感染症関連の検査についても進出を視野に入れており、今後も医療分野での社会貢献を目指し、病院やクリニックのニーズに幅広く応えてまいります。



蛍光免疫自動分析装置「アフィアス6」

## 国内グループ 東京貿易マシナリー株式会社

## 海外グループ TOKYO BOEKI (RUS) LTD.

### 産業プロジェクトビジネス： 酸素発生装置の第一号輸出案件が完工

東京貿易マシナリー(株) ロシア・CISマーケティング部及びTOKYO BOEKI (RUS) LTD.は、非鉄金属の精錬過程で不可欠な酸素の大型発生装置をロシアの大手亜鉛生産企業向けに販売し、2020年4月に最終試運転を完了しました。本件に続く第二号案件も受注しており、来期に実行を予定しております。現在、ロシア市場はコロナ禍に伴う経済活動の停滞・自国通貨安という厳しい局面を迎えておりますが、これまで地道に営業活動を続けてきた電子顕微鏡や溶接機の販売などの主力ビジネスを堅持すると同時に、今回新たに加わった酸素発生装置などの産業プロジェクト型ビジネスを養成することにより、事業基盤の拡大・強靱化を推し進め、ロシア・CIS市場における東京貿易のプレゼンスをさらに高めてまいります。



第一号案件:納入された酸素発生装置

## 国内グループ 東京貿易マテリアル株式会社

### 中国石炭複合プロジェクトをはじめとする各種事業の推進

中国合弁会社を介して参画している中国の石炭複合プロジェクトについて、昨年より主力の原料炭の商業生産を開始しました。競争力の高まるフル生産の実現は、2年後を予定しています。引き続き、プロジェクトパートナーとの連携を深め、原料炭販売により当事業の拡大発展に貢献してまいります。

資材事業では、耐火煉瓦の価格競争力を強化するOEM製造による販売拡大、残厚測定業務導入による継続受注の促進など、一貫事業化を図っています。また、鉄鋼事業では、東南アジア地域における事業展開を推進しています。インドでは、今後拡大が見込まれるステンレス需要の獲得を目指し、インドネシア・ベトナムでは建設事業への参入を進め、鋼材取引を拡大させてまいります。



中国石炭複合プロジェクト 赤峪炭鉱

## 東京貿易グループ

### グループ新基幹システム「OBIC7」が稼働

これまで、東京貿易グループでは自社で内製化した基幹システム「TIS」を使用していましたが、“業務効率化”と“グループ全体の経営管理基盤の最適化”を実現するため、2020年4月より、会計・人事・資産領域で新基幹システム「OBIC7」の本稼働を開始いたしました。

新ERP構築の基本方針に、可能な限りシステムの作りこみ(アドオン)は行わず、標準パッケージを導入することを掲げ、法令対応や消費増税などの世の中の変化にシームレスで対応できる体制の構築を目指し、メジャーなERPソフトウェアの中から「OBIC7」を選定しております。機動的で柔軟性の高い本システムにより、グループ経営のさらなる効率化と高度化を実現いたします。

## グループ会社の紹介

### エネルギー機械産業グループ

## 東京貿易エンジニアリング株式会社

流体荷役装置の製造を通じて  
エネルギー資源の安定流通に貢献し、  
世界をつないでいます。

### 基本情報

設 立	2002年11月28日
本 社 所 在 地	東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン
工 場	新潟県長岡市
サービスセンター	長岡、千葉、名古屋、大阪、福岡
代 表 者	代表取締役社長 坪内 秀介
資 本 金	4億円
社 員 数	216名 (2020年3月末)

東京貿易エンジニアリング(株) (以下、TEN) は、ローディングアームなどの流体荷役装置の開発・設計・製造・アフターサービスを行っています。ローディングアームは金属製の流体荷役装置で、世界中でエネルギー資源の荷役に使用されており、販売会社である東京貿易マシナリー(株)との製販協力体制のもと、あらゆる流体に対応できるローディングアームで、世界中のお客様のご要望にお応えしています。主力製品であるLNG(液化天然ガス)用マリンローディングアームは国内で圧倒的なシェアを誇り、これまでに日本を含めた世界各国に300基以上を納入しています。

### ●ローディングアーム事業



ローディングアーム



主にタンカーから地上のタンクに石油やガスを運搬

### 世界初の液化水素用マリンローディングアームを開発！

TENは、内閣府が推進するプロジェクト\*1のテーマの一つ「液化水素用ローディングシステム開発とルール整備」に参画し、世界初の液化水素用マリンローディングアームを開発しました。

今後もTENは、NEDO\*2事業「未利用エネルギー由来水素サプライチェーン構築」内の、液化水素の海上輸送実証プロジェクトに参画し、将来の商用化を見据え、液化水素用マリンローディングアームの大型化、軽量化の技術開発を進めることで、持続可能な社会の実現を目指します。

\*1 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

\*2 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

### ●ローディングアームと水素サプライチェーン



液化水素用マリンローディングアーム

# 連結グループ会社の概要

## 国内グループ会社

### 株式会社ティービーアイ

代表取締役社長：金 元輔

事業内容：セキュリティシステム機器の輸入並びに販売  
セキュリティシステム周辺機器の開発・製造及び販売  
セキュリティシステムの設計・施工及びアフターサービス

### 東京貿易マシナリー株式会社

代表取締役社長：坪内 秀介

事業内容：流体荷役装置及び関連機器・各種プラント関連機器の販売  
CIS諸国を中心とした教育・科学技術関連施設向理科学機器輸出取引

### 東京貿易エンジニアリング株式会社

代表取締役社長：坪内 秀介

事業内容：流体荷役装置の開発・設計・製造・販売・アフターサービス

### 東京貿易テクノシステム株式会社

代表取締役社長：増田 克彦

事業内容：三次元測定機、各種測定機器、各種検査機器、関連ソフトウェアの開発・設計・製造  
三次元測定機、関連ソフトウェアの販売・輸出入・保守

### 東京貿易マテリアル株式会社

代表取締役社長：重住 寛

事業内容：資材・資源・鉄鋼に係る事業開発及び輸出入

### 東京貿易メカニクス株式会社

代表取締役社長：森山 重

事業内容：ガス関連機器の開発・販売・メンテナンス

### 東京貿易メディシス株式会社

代表取締役社長：田中 祐太

事業内容：病院、医療検査機関向臨床検査用自動分析装置の開発・製造及び販売

### ティービーテック株式会社

代表取締役社長：金井 恭秀

事業内容：受託ソフトウェア・パッケージソフトウェアの開発、ネットワークシステムの構築、  
システムアウトソーシング、コンサルタント業務、人材派遣

### 株式会社tb innovations

代表取締役社長：高 賢哉

事業内容：戦略投資（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）、  
コンサルティング、新事業開発

## 海外グループ会社

### アメリカ合衆国

TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC. (ケンタッキー)

PRESIDENT：井ノ山 靖紀

事業内容：三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

### 中国

東京貿易(中国)有限公司 (上海)

董事長：杉原 正章

事業内容：中国における資材・資源・鉄鋼事業及び新規事業開発

東京貿易技研(広州)有限公司 (広州)

董事長：倉持 幸正

事業内容：三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

### タイ

TBTS(THAILAND)CO.,LTD. (バンコク)

PRESIDENT：中里 太郎

事業内容：三次元測定機及び関連ソフトウェアの販売とサービス

### CIS

TOKYO BOEKI (RUS) LTD. (モスクワ)

GENERAL DIRECTOR：瀧川 敬司

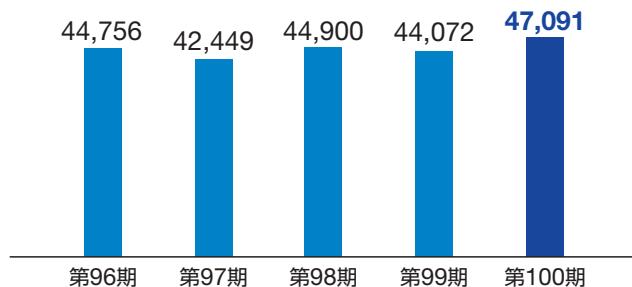
事業内容：CIS諸国における教育・科学技術関連施設向理科学機器輸出入販売

(2020年6月29日現在)

## 決算ハイライト

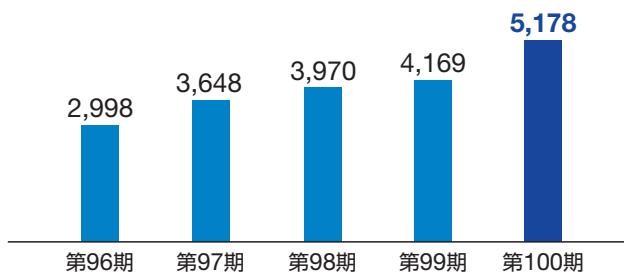
### ■ 売上高

(単位:百万円)



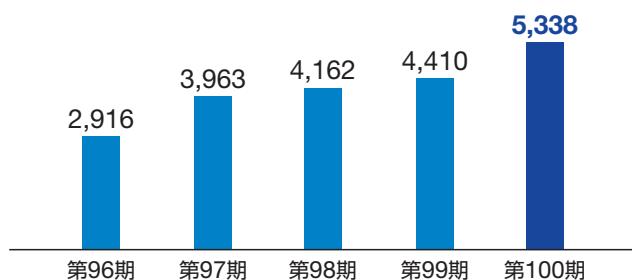
### ■ 営業利益

(単位:百万円)



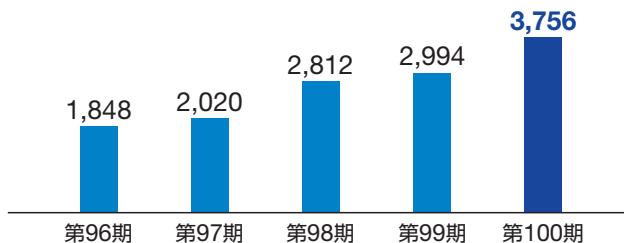
### ■ 経常利益

(単位:百万円)



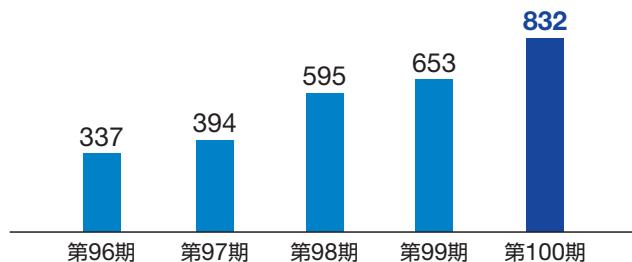
### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



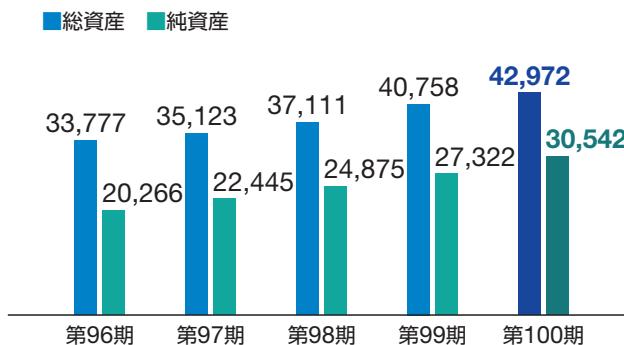
### ■ 1株当たり当期純利益

(単位:円)



### ■ 総資産/純資産

(単位:百万円)



## 連結財務諸表

### ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2020年3月31日現在	2019年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	33,782	32,308
固定資産	9,189	8,449
有形固定資産	3,556	3,482
無形固定資産	743	400
投資その他の資産	4,889	4,566
資産合計	42,972	40,758
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,473	12,383
固定負債	956	1,051
負債合計	12,430	13,435
<b>純資産の部</b>		
株主資本	29,804	26,550
資本金	5,000	5,000
利益剰余金	25,368	22,115
自己株式	△564	△564
その他の包括利益累計額	549	600
非支配株主持分	187	171
純資産合計	30,542	27,322
負債・純資産合計	42,972	40,758

### ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2019年4月1日～ 2020年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	47,091	44,072
売上原価	30,594	28,765
売上総利益	16,496	15,307
販売費及び一般管理費	11,318	11,137
営業利益	5,178	4,169
営業外収益	413	391
営業外費用	253	150
経常利益	5,338	4,410
税金等調整前当期純利益	5,338	4,410
法人税等	1,576	1,405
当期純利益	3,762	3,004
非支配株主に帰属する当期純利益	5	10
親会社株主に帰属する当期純利益	3,756	2,994

(注) 金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 会社概要 / 株式の状況

## 会社概要 (2020年3月31日現在)

東京貿易グループ	東京貿易ホールディングス株式会社 及びグループ15社
設立	1947年(昭和22年)10月30日
資本金	50億円(株主資本298億円)
従業員	1,118名
本社 (純粋持株会社)	東京貿易ホールディングス株式会社 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン

## 東京貿易ホールディングス株式会社 役員紹介 (2020年6月29日現在)

### 取締役・執行役員

代表取締役会長	町田 弘
代表取締役社長	加藤 三四郎(富弘)
取締役副社長	坪内 秀介
取締役	金 元 鏞
執行役員	中川 伸吾

### 監査役

常勤監査役	菊地 秀之
監査役	前野 秀行
監査役	沼田 美穂

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	38,519,920株
発行済株式総数	普通株式 4,281,140株 (自己株式を除く)
	A種優先株式 1,700,000株
株主数	122名

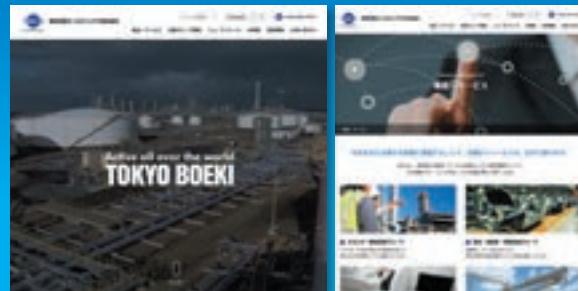
主要な法人株主	持株数	持株比率
東京貿易株式会社	1,700千株	28.42%
東貿持株会	604千株	10.11%
東京海上日動火災保険株式会社	498千株	8.33%
トーア再保険株式会社	408千株	6.82%
株式会社三菱UFJ銀行	249千株	4.16%
日本生命保険相互会社	120千株	2.01%

※ 東京貿易株式会社の1,700千株はA種優先株式になります。

## 当社グループ ホームページのご案内

ホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介など  
様々なコンテンツを掲載しております。

<http://www.tokyo-boeki.co.jp/>



## 東京貿易グループ

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン  
TEL: 03-6841-8300 FAX: 03-6841-8388

